

「在日米軍基地の整理・縮小」と「日米地位協定の抜本的見直し」を実現する日出生台集会 IN 玖珠町

連合九州ブロック連絡会は、1月25日に大分県玖珠郡玖珠町玖珠川河川敷において日出生台集会を開催し、九州からおよそ3800人、連合熊本から120人が参加しました。この集会は九州ブロック連絡会が地方の運動課題として地方から発信し、1999年から集会やシンポジウムの開催を主催しており、今年は来月から実弾射撃訓練が行われることから、屋外での集会の開催となりました。

集会は連合大分の藤本事務局長の開会あいさつの後、地元実行委員会のみなさんが壇上にあがり、日出生台の自然と平和への願いを詩の朗読と歌で語りました。続いて主催者代表とし



連合九プロ
藤田代表幹事



連合本部
清水事務局長



講演をおこなった
半田滋氏



九州から3800人が集まりました

て連合九州ブロック連絡会藤田代表幹事、連合本部代表として清水事務局長が挨拶しました。続いて、防衛ジャーナリストの半田滋氏が講演をおこない、「日本と同じように米軍が在駐しているドイツやイタリアは、事故をきっかけにアメリカと交渉して地位協定を変えた。日本にできないわけがない。政府がはっきりものを言えないのであれば、政権交代しかない。今夏の参議院選挙では多くの国民の支援を受けて、政権交代が可能となる日をめざして頑張りましたよ」と参加者にエールを送りました。最後は、連合大分の石本会長の団結ガバロウで集会を締めくくりました。



熊本からも120人が参加



くらしをまもり、未来をつくる

連合熊本

3811情報

発行 日本労働組合総連合会
熊本県連合会
発行・編集人 山本 寛
〒862-0976
熊本市中央区九品寺1丁目17-9
☎(096)375-3811 FAX (096)375-3017
印刷所 株式会社 チューイン
2025年2月27日発行 No. **388**

連合熊本・熊本地協

2025年新春旗開き・賀詞交歓会に200人が集結



友田連合熊本会長



木村熊本県知事



大西熊本市長



金成熊本労働局長



泉熊本地協事務局長

連合熊本と熊本地協は、2025年1月8日にANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイにおいて、構成組織・地域協議会より約200人に御出席いただき、2025新春旗開き・賀詞交歓会を開催しました。会は、泉秀明熊本地協事務局長（JP労組）の進行で進められ、まず主催者を代表して友田孝行連合熊本会長（電機連合）が「実質賃金が継続的に上昇していくことが重要。そのために2025春闘においても、格差是正、価格転嫁、適正な取引の徹底を掲げて取り組んでいきたい」「今夏の参議院議員選挙においては、推薦候補の必勝に向け、比例区と選挙区が連動した取り組みを展開したい」と挨拶しました。また、多くの来賓を代表して、まず木村敬熊本県知事が「若い人たちの意

見を積極的に取り入れて、働きやすい、暮らしやすい職場環境をつくっていききたい」と挨拶。続いて大西一史熊本市長、最後に金成真一熊本労働局長から祝辞をいただきました。

懇親会は、森田康昭熊本地協議長（自治労）の乾杯でスタートし、連合熊本推薦の首長である浅田敏彦荒尾市長、江頭実菊池市長、藏原隆浩玉名市長からご挨拶をいただきました。続いて、本年選挙が実施される連合熊本推薦議員の勢田昭一山鹿市議、佐藤真二大津町議、山部良二大津町議、坂田正也南阿蘇村議より決意表明があり、候補者の必勝を祈念し、全員で拍手をおくりました。最後に、乗富女性委員長（自治労）の閉会のあいさつで、2025新春旗開き・賀詞交歓会を閉じました。

連合熊本推薦首長のみなさん



浅田 荒尾市長



江頭 菊池市長



藏原 玉名市長



熱い決意表明をした連合推薦議員のみなさん



乾杯の発声は
森田熊本地協議長



閉会のあいさつ
乗富女性委員長



会場には200人が集まった

アジア・アフリカ支援米出発式

食とみどり、水を守る熊本県民会議

食とみどり、水を守る熊本県民会議（久保研一議長）は1月11日、熊本市西区の古町小学校にて、2024年度アフリカ支援米出発式をおこない、古町小学校の5～6年生の生徒やその保護

者をはじめ40人が集まりました。この支援米活動は、「お米の一人一握り運動」として、カンパ米を各組織・各地域によびかけをし、600kgを集約してアフリカのマリ共和国へ送った



トラックに積み込む子どもたち



参加した古町小学校の児童たち

ことがきっかけとなり、今年度で28回目を迎えました。今年も県内3か所で作付けをし、収穫された米をアフリカ西部のマリ共和国に送りました。

今回支援米活動に取り組んだ古町小学校の児童は「米作りは手作業だったので難しかったけど、とても貴重な体験ができました。今回収穫したお米が、マリ共和国のみなさんに食べていただけたらうれしいです」と感想を述べました。それから児童たちは協力して米を次々にトラックに積み込み、全員の拍手で見送りました。

編集後記

初めて日出生台集会へ参加しました。道中、日出生台をテーマにしたドキュメンタリーを車中で観ながら現地向かいました。そのなかで子どもたちに「日出生台は好きですか」との問いかけると、一斉に「好きです!」と答えます。「どこが好き?」と尋ねると、「自然がいっぱいあるから」「お友達と遊ぶから」と返します。実弾演習が始まると、住民の見守りで子どもたちは学校に通い、授業中でさえも「ドーン」と腹の底に響くような重低音が響きわたります。そういった不安と危険が隣り合わせのなかに、そこに住む人たちの日常があります。一日でも早く、当たり前のおだやかな生活を取り戻せるよう、わたしたちは現地に足を運び現状を知り、一緒に声をあげることが、地元の方々の思いに寄り添うことではないのかなと、改めて感じました。(Nami)

Topics RENGOKUMAMOTO

2025春季生活闘争勝利！
連合熊本第32回
産別・地協対抗駅伝大会

日時：3月2日（日）
10時30分スタート
場所：天草市本渡町
「あましんスタジアム」

2025春季生活闘争勝利に向けてランナーがタスキをつなぎます。皆さんの応援をよろしくお願いします。



今後の主なスケジュール

- 2月28日 連合熊本2025春季生活闘争勝利総決起集会
- 3月2日 「2025春季生活闘争勝利」連合熊本第32回産別・地協対抗駅伝大会
- 6日 連合熊本サブプロクの日行動
- 8日 連合熊本女性委員会主催学習会
- 〃 3.8国際女性デー 熊本行動街頭行動
- 〃 連合熊本第3回女性委員会幹事会
- 17日 2024連合熊本「要求と提言回答に対する意見交換」
- 24日 連合熊本第18回執行委員会
- 27日 第2回中小地場共闘センター会議

連合熊本 5%以上の賃上げを目ざして団結がんばろう

2025春季生活闘争開始宣言集会 90人が参加



友田会長



山本事務局長



西委員長



齊藤副事務局長



乗富女性委員長



中路青年委員長

連合熊本は2月5日、熊本県労働者福祉会館3F大会議室において「2025春季生活闘争開始宣言集会」を開催し、県内各地から構成組織の組合員約90人が集まりました。

山本事務局長の司会進行でスタートした集会では、主催者を代表し友田会長が「昨年は高水準の賃上げが実現したものの、物価高に追いつかず生活の向上を実感する人は少ない。また、賃上げの流れが波及していない産業もある。実質賃金を上昇させ、物価と賃金の好循環を実現しなければならない」と挨拶しました。連合熊本中小労組対策委員会の西委員長から今期春季生活闘争の情勢報告、齊藤副事務局長から連合熊本2025春季生活闘争方針の概要説明がありました。続いて、乗富女性委員長が連合熊本「2025春季生活闘争開始宣言集会」闘争開始宣言を読みあげ、最後に中路青年委員長の団結ガンパローで集会が締められました。

30年にわたり、凍り付いてきた日本経済のもとで形成されてきたノルム（社会的規範）を変え、新たなノルムを社会に根付かせるため、みんなで「賃上げを！」の声を上げていきましょう。



春闘勝利に向けてガンパロー

マスコミ報道でもとりあげられました



NHKニュース

連合熊本、賃上げ5%へ気勢 熊本市で春闘開始集会

熊本日日新聞 2025年2月5日 19:29

連合熊本は5日、熊本市中央区で2025年の熊本県内各団体の春闘となる闘争開始宣言集会を開き、基本給を底上げするベースアップ（バプ）を3%以上、定期昇給分を合わせて5%以上の賃上げを目ざして約90人が気勢を上げた。

友田実行会長は「昨年は高水準の賃上げが実現したものの、生活の向上を実感する人は少ない。賃上げの流れが波及していない産業がある。実質賃金を上昇させ、物価と賃金の好循環を実現する」と訴えた。



賃上げ目標に向け気勢を上げる組合員ら＝5日、熊本市中央区

熊本日日新聞

2025春季生活闘争

「連合熊本キャラバン行動」(2/6~3/5)

連合熊本・連合熊本6地域協議会

連合熊本各地域協議会は、2月6日から3月5日にかけて、2025春季生活闘争における「熊本県内で働くすべての労働者へメッセージ発信」と「地域の中小地場労組の支援」を目的としたキャラバンカーによる街宣行動をおこなっています。みなさんの地域で見かけたらぜひお声かけ下さい！



肥後有明地協から菊阿地協へ



菊阿地協から天草宇城上益城地協へ

期 間	担当地協
2月5日(水)	連合熊本
2月6日(木)～2月11日(火)	肥後有明地協
2月12日(水)～2月16日(日)	菊阿地協
2月17日(月)～2月19日(水)	天草宇城上益城地協
2月20日(木)～2月25日(火)	県南地協
2月26日(水)～3月2日(日)	人吉球磨地協
3月3日(月)～3月5日(水)	熊本地協
3月6日(木)	連合熊本

キャラバン行動日程



中小地場共闘センターが発足

第1回中小地場共闘センター会議・学習会を開催

連合熊本は2月8日、熊本県労働者福祉会館3F大会議室にて、2025春季生活闘争における情報交換や闘争情報の共有化など中小・地場労組の共闘体制構築を目的とした連合熊本2025中小地場共闘センターを立ち上げ、第1回会議を開催し、西センター長をはじめとした新体制の確認と、2025春季生活闘争方針と取り組みについての意識合わせをはかりました。会議終了後、昨年に引き続き、連合本部（労働条件・中小地域対策局）の酒井次長を講師に学習会「2025春季生活闘争を取り巻く情勢・課題等について」を開催し、40人が参加しました。酒井次長は「2024年は“ステージ転換”に向けた大きな一歩。2025年はすべての働く人の持続的な生活向上をはかり、新たなステージをわが国に定着させることをめざす」と今春闘の意義を説明し、その後会場の参加者と、質疑応答を含めた意見交換をおこない充実した学習会となりました。



友田会長



西センター長



連合本部 酒井次長

25年春闘「中小企業と大企業の格差是正を」 連合熊本の中小地場共闘センターが初代会

熊本日日新聞 2025年2月8日 19:23

連合熊本の産業別団体などをつくる「中小地場共闘センター」は8日、2025年の春闘に合わせ、熊本市中央区の熊本県労働者福祉会館で初代会を開いた。各別働の春闘の展開協力を調整するよう申し合わせた。

センターは中小企業の労働者を支援し、毎年2～7月をめどに設置。今年のセンターには、連合熊本の各別働協議会を顔面とした。西センター長は「大企業を中心に賃上げが進んでいる一方で中小企業との格差は広がっている。格差を是正するよう、センターで交流したい」とあいさつ。各別働による関係強化もあった。（熊本日日新聞）



中小地場共闘センター。熊本市に設置された熊本市の各別働協議会（中央）＝8日、熊本市中央区

熊本日日新聞にも掲載されました

STOP雇用不安!みんなの力で職場を改善しませんか 連合全国一斉集中労働相談ホットライン

2月13日木
14日金

2月13日・14日の2日間、「全国一斉集中労働相談ホットライン」として、全国47地方連合会が一斉に電話等による労働相談を開催しました。働き方改革が叫ばれ、働き方に関する法整備は進んでいますが、いまだに違法な残業や不当解雇、不適切な労働時間の管理が後を絶ちません。特に3月末は多くの有期雇用者にとって、契約更新の時期となることから、雇止めが増えることが予想されます。このようなことから、今回は「STOP雇用不安!みんなの力で職場を改善しよう」をキャッチフレーズに、全国一斉で集中相談会を開催しました。連合熊本でもSNSの活用や熊本地協がチラシ入りのティッシュ配布をおこなうなどの周知を図りました。この2日間に熊本では、面談を含めて6件の相談があり、賃金未払いやハラスメント、「仕事を辞めるか困っている」等の相談が寄せられ、ライフサポートセンターくまもとの相談員が、丁寧に相談対応を行いました。



電話相談を受ける相談員